

平成 17 年度当初予算案主要事項説明資料

農 林 水 産 部

主 要 事 項 説 明 資 料 目 次

頁	事 業 名	担 当 課 (室)
1	緑の公共事業費	共 通
2	農林水産部関係公共事業費	各 課
3	農林水産部関係公共事業費(台風23号関連)	森 林 保 全 課
4	食の安心・安全推進事業費	食の安心・安全プロジェクト
5	中山間地域等直接支払事業費	農 村 振 興 課
6	ふるさとのあすをひらく新規就業支援事業費	農 村 振 興 課
7	農のあるライフスタイル実現プロジェクト推進事業費	農 村 振 興 課
8	「いただきます。地元産」プラン推進事業費	農 産 流 通 課
9	ブランド京野菜等倍増戦略事業費	農 産 流 通 課
10	「宇治茶」ブランド支援事業費	農 産 流 通 課
11	京の水田農業確立支援事業費	農 産 流 通 課
12	鶏卵トレーサビリティシステム支援事業費	畜 産 課
13	家畜保健衛生所機能強化費	畜 産 課
14	森林整備地域活動支援事業費	林 務 課

平成17年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	緑の公共事業費																																								
予算額	1,504,953千円	新規・継続の別	継続																																						
事業内容 [目的 対象 方法等]	<p>1 趣 旨 地球温暖化防止・水土保全・水源かん養等環境の保全に不可欠な森林について、「緑の公共事業アクションプラン」に基づき、モデルフォレストの考え方の下で、多様な主体の参加と連携で京都の森林を守り森林資源を活かす各般の事業や取組を促進することにより、緑豊かな環境を守り、併せて新たな雇用を創出する。</p> <p>2 事業概要</p> <table border="0"> <tr> <td>公益性の高い森林の緊急的な整備</td> <td>1,031,743千円</td> </tr> <tr> <td> 放置森林の整備</td> <td>1事業 (99,088千円)</td> </tr> <tr> <td> 水源地域等の森林整備</td> <td>2事業 (331,765千円)</td> </tr> <tr> <td> 風倒木被害森林の再生</td> <td>1事業 (157,410千円)</td> </tr> <tr> <td> 京都・文化の森づくり</td> <td>1事業 (9,400千円)</td> </tr> <tr> <td> 森林機能保全対策</td> <td>1事業 (434,080千円)</td> </tr> <tr> <td>森林整備による雇用の創出</td> <td>14,080千円</td> </tr> <tr> <td> 担い手の育成</td> <td>1事業 (4,080千円)</td> </tr> <tr> <td> 野生鳥獣との共生の森づくり</td> <td>1事業 (10,000千円)</td> </tr> <tr> <td>木質資源の積極的な利活用</td> <td>254,216千円</td> </tr> <tr> <td> 公共事業での間伐材等の利用</td> <td>6事業 (213,216千円)</td> </tr> <tr> <td> 学校施設での間伐材の利用</td> <td>1事業 (20,000千円)</td> </tr> <tr> <td> 間伐材等の利用拡大の促進</td> <td>1事業 (21,000千円)</td> </tr> <tr> <td>森林生態系の保全</td> <td>198,814千円</td> </tr> <tr> <td> 野生鳥獣害対策の推進</td> <td>2事業 (106,475千円)</td> </tr> <tr> <td> 森林病虫害対策の実施</td> <td>2事業 (92,339千円)</td> </tr> <tr> <td>緑を活かす府民協働の推進</td> <td>6,100千円</td> </tr> <tr> <td> モデルフォレストの推進</td> <td>1事業 (4,200千円)</td> </tr> <tr> <td> 木のネットワークづくり</td> <td>1事業 (1,900千円)</td> </tr> </table> <p>3 雇用見込人数 634人</p>			公益性の高い森林の緊急的な整備	1,031,743千円	放置森林の整備	1事業 (99,088千円)	水源地域等の森林整備	2事業 (331,765千円)	風倒木被害森林の再生	1事業 (157,410千円)	京都・文化の森づくり	1事業 (9,400千円)	森林機能保全対策	1事業 (434,080千円)	森林整備による雇用の創出	14,080千円	担い手の育成	1事業 (4,080千円)	野生鳥獣との共生の森づくり	1事業 (10,000千円)	木質資源の積極的な利活用	254,216千円	公共事業での間伐材等の利用	6事業 (213,216千円)	学校施設での間伐材の利用	1事業 (20,000千円)	間伐材等の利用拡大の促進	1事業 (21,000千円)	森林生態系の保全	198,814千円	野生鳥獣害対策の推進	2事業 (106,475千円)	森林病虫害対策の実施	2事業 (92,339千円)	緑を活かす府民協働の推進	6,100千円	モデルフォレストの推進	1事業 (4,200千円)	木のネットワークづくり	1事業 (1,900千円)
公益性の高い森林の緊急的な整備	1,031,743千円																																								
放置森林の整備	1事業 (99,088千円)																																								
水源地域等の森林整備	2事業 (331,765千円)																																								
風倒木被害森林の再生	1事業 (157,410千円)																																								
京都・文化の森づくり	1事業 (9,400千円)																																								
森林機能保全対策	1事業 (434,080千円)																																								
森林整備による雇用の創出	14,080千円																																								
担い手の育成	1事業 (4,080千円)																																								
野生鳥獣との共生の森づくり	1事業 (10,000千円)																																								
木質資源の積極的な利活用	254,216千円																																								
公共事業での間伐材等の利用	6事業 (213,216千円)																																								
学校施設での間伐材の利用	1事業 (20,000千円)																																								
間伐材等の利用拡大の促進	1事業 (21,000千円)																																								
森林生態系の保全	198,814千円																																								
野生鳥獣害対策の推進	2事業 (106,475千円)																																								
森林病虫害対策の実施	2事業 (92,339千円)																																								
緑を活かす府民協働の推進	6,100千円																																								
モデルフォレストの推進	1事業 (4,200千円)																																								
木のネットワークづくり	1事業 (1,900千円)																																								
担当課・係名	緑の公共事業推進プロジェクト	課・係 電話番号	075 - 414 - 5015																																						

緑の公共事業一覧

(単位：千円、人)

頁	区分	事業内容	区分	予算額	実雇用見込人数	担当部局
1	公益性 の高い 森林の 整備	いのちと環境の森づくり事業費	継続	99,088	149	農林水産部
		森林機能回復整備事業費	継続	46,288	46	
		森林適正整備推進事業費	継続	44,500	69	
		放置竹林拡大防止事業費	継続	8,300	34	
2		豊かな水の森整備事業費	継続	70,000	23	農林水産部
3		安心・安全の森整備事業費[公共治山]	継続	261,765	69	農林水産部
4		風倒木被害森林緊急再生事業費[公共造林]	新規	157,410	85	農林水産部
5		京都・文化の森づくり事業費	継続	9,400	15	農林水産部
6		森林機能保全対策費	新規	434,080	-	農林水産部
7	新規雇用	緑の公共担い手育成事業費	継続	4,080	12	農林水産部
8	の創出	人と野生鳥獣の共生の森づくり事業費	新規	10,000	7	農林水産部
9	木質資	森のゼロエミッション治山事業費	継続	25,000	-	農林水産部
10	源の積	緑の河川復活事業費	継続	100,000	93	土木建築部
11	極的な	緑の溪流復活事業費	継続	30,000	12	土木建築部
12	利活用	緑の散策道等再生事業費	継続	10,000	6	土木建築部
13		府営住宅建設費	継続	27,216	-	土木建築部
14		府営住宅ストック総合活用事業費	継続	21,000	-	土木建築部
15		木の香あふれる学校環境整備事業費	継続	20,000	24	農林水産部・教育委員会
16		ウッドマイレージ認証木材普及事業費	継続	21,000	17	農林水産部
17	森林生	特定鳥獣保護管理推進事業費	継続	32,850	20	農林水産部
18	態系の	野生鳥獣被害対策事業費	継続	73,625	-	農林水産部
19	保全	ナラ枯れ被害対策事業費	継続	2,111	3	農林水産部
20		松くい虫等防除関連事業費	継続	90,228	99	農林水産部
21	府民協働	京都モデルフォレスト創造事業費	継続	4,200	-	農林水産部
22	の推進	京都の木のネットワークづくり事業費	継続	1,900	-	農林水産部
		合 計		1,504,953	634	

平成 17 年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

<p>事 業 名</p>	<p>緑の公共事業費 いのちと環境の森づくり事業費</p>		
<p>予 算 額</p>	<p>99,088千円</p>	<p>新規・継続の別</p>	<p>継 続</p>
<p>事業内容</p> <p>[目 的 対 象 方 法 等]</p>	<p>1 趣 旨 放置された人工林等を対象に、森林所有者との協定により一定期間の伐採利用禁止等の措置を講じながら、環境保全の視点から間伐を軸に針広混交林化を促進する。</p> <p>2 事業概要 森林機能回復整備事業 造林未済地における広葉樹の植栽や放置森林での強度の間伐等の実施 森林適正整備推進事業 水源かん養等の機能を高度に発揮するため、国庫補助対象とならない8 齡級（36年生～40年生）から12 齡級（56年生～60年生）の高齡級の間伐と間伐材の搬出、及びこれに伴う施業路開設の実施 放置竹林拡大防止事業 放置されたことにより森林に侵入した竹林の伐採整理の実施</p> <p>3 事業主体 （社）京都府森と緑の公社 市町村、森林組合、森林所有者等 市町村、森林組合、森林所有者等</p> <p>4 補 助 率 85% 及び 1/2</p> <p>5 雇用見込人数 149人</p>		
<p>担当課・係名</p>	<p>森林保全課森林整備担当</p>	<p>課・係 電話番号</p>	<p>075 - 414 - 5024</p>

平成 17 年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

<p>事 業 名</p>	<p>緑の公共事業費 豊かな水の森整備事業費</p>		
<p>予 算 額</p>	<p>70,000千円</p>	<p>新規・継続の別</p>	<p>継 続</p>
<p>事業内容</p> <p>[目 的 対 象 方 法 等]</p>	<p>1 趣 旨 山村集落の水環境整備や豊かな海づくりをめざして、水源山地及び沿岸区域の荒廃森林整備を実施する。</p> <p>2 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 取水機能を備えた治山ダムの整備（木製治山ダム 1基ほか） ・ 治山ダム周辺荒廃森林の整備 <p>3 実施予定箇所 舞鶴市田井 ほか 1箇所</p> <p>4 雇用見込人数 23人</p>		
<p>担当課・係名</p>	<p>森林保全課治山担当</p>	<p>課・係 電話番号</p>	<p>075 - 414 - 5028</p>

平成 17 年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

<p>事 業 名</p>	<p>緑の公共事業費 安心・安全の森整備事業費</p>		
<p>予 算 額</p>	<p>261,765千円</p>	<p>新規・継続の別</p>	<p>継 続</p>
<p>事業内容</p> <p>[目 的 対 象 方 法 等]</p>	<p>1 趣 旨 暮らしの安心・安全を守る水源かん養や土砂流出防備機能など森林の持つ公益的機能を高度に発揮させるため、公益性の高い保安林の改良及び保育を実施する。</p> <p>2 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本数調整伐 ・ 下刈り及び除伐 <p>3 実施予定箇所 亀岡市三俣ほか32箇所</p> <p>4 雇用見込人数 69人</p>		
<p>担当課・係名</p>	<p>森林保全課治山担当</p>	<p>課・係 電話番号</p>	<p>075 - 414 - 5028</p>

平成 17 年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

<p>事 業 名</p>	<p>緑の公共事業費 風倒木被害森林緊急再生事業費</p>		
<p>予 算 額</p>	<p>157,410千円</p>	<p>新規・継続の別</p>	<p>新 規</p>
<p>事業内容 [目 的 対 象 方 法 等]</p>	<p>1 趣 旨 台風23号により被害を受けた森林の公益的機能を早急に回復するため、風倒木処理等の森林整備を実施する。</p> <p>2 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 風倒木の伐採及び跡地への造林 ・ 風倒木の引き起こし ・ 上記作業のための作業路の開設 <p>3 実施予定箇所 激甚災害の指定5市町（美山町、和知町、宮津市、伊根町、京丹後市）を含む20市町</p> <p>4 雇用見込人数 85人</p>		
<p>担当課・係名</p>	<p>森林保全課森林整備担当</p>	<p>課・係 電話番号</p>	<p>075 - 414 - 5024</p>

平成 17 年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	緑の公共事業費 京都・文化の森づくり事業費		
予算額	9,400千円	新規・継続の別	継 続
<p>事業内容</p> <p>[目 的 対 象 方 法 等]</p>	<p>1 趣 旨 文化財や京町家等の修復、京都の祭事等に必要な用材を府で指定・登録することで、その確保を図るとともに、優れた景観形成に貢献する社寺等の後背林の整備を行う。</p> <p>2 事業概要 文化を支える悠久の森づくり事業 京都の文化財修復や代表的な祭事などに不可欠なマツ、ケヤキ、ミツバツツジなどを府で登録する。 京の景観保全林整備事業 世界文化遺産（社寺）等周辺の森林の枯損木、倒木等による文化財への危害を防ぐとともに、美しい景観を守るための不要木の伐採、整理等の実施</p> <p>3 事業主体 のうち軽微なもの 地域の保存会等 上記以外 府</p> <p>4 補助率 のうち軽微なもの 1 / 2</p> <p>5 雇用見込人数 15名</p>		
担当課・係名	緑の公共事業推進プロジェクト	課・係 電話番号	075 - 414 - 5015

平成 17 年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

<p>事 業 名</p>	<p>緑の公共事業費 森林機能保全対策費</p>		
<p>予 算 額</p>	<p>434,080千円</p>	<p>新規・継続の別</p>	<p>新 規</p>
<p>事業内容</p> <p>[目 的 対 象 方 法 等]</p>	<p>1 趣 旨 公的な森林の機能保全対策を実施するための(社)京都府森と緑の公社への貸付金等</p> <p>2 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (社)森と緑の公社の経営改善を図るため、借入金借り換えに要する資金の貸付 ・ 緑の公共事業で進めている、森林の公益的機能保全を主とした環境のための森づくり等の一層の推進に向けて、(社)森と緑の公社が担うべき役割や同公社の今後の業務のあり方等についての検討 		
<p>担当課・係名</p>	<p>森林保全課森林整備担当</p>	<p>課・係 電話番号</p>	<p>075 - 414 - 5024</p>

平成 17 年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	緑の公共事業費 緑の公共担い手育成事業費		
予算額	4,080千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 [目 的 対 象 方 法 等]	<p>1 趣 旨 林業労働者の高齢化等により担い手が年々減少している中で、新たな林業労働者の育成と地域での定着を促進するため、林業への本格的な就業を希望する者を対象に、技術習得のための実地研修を行い、即戦力となる担い手を養成する。</p> <p>2 事業概要 森林整備の実地研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 対象人数 12人 ・ 研修期間 100日間 ・ 研修方法 2人の指導員が研修生5人を指導 ・ 研修場所 府有林、公社造林地 ほか <p>3 実施方法 (財)京都府林業労働支援センターへの委託</p> <p>4 雇用見込人数 12人</p>		
担当課・係名	林務課計画指導担当	課・係 電話番号	075 - 414 - 5002

平成 17 年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

<p>事 業 名</p>	<p>緑の公共事業費 人と野生鳥獣の共生の森づくり事業費</p>		
<p>予 算 額</p>	<p>10,000千円</p>	<p>新規・継続の別</p>	<p>新 規</p>
<p>事業内容 [目 的 対 象 方 法 等]</p>	<p>1 趣 旨 ツキノワグマにとって外敵から身を守るために格好の隠れ場所となっている放置された暗い里山等について、人と野生鳥獣（ツキノワグマ）の生活エリアを隔てる緩衝地帯として整備するとともに、必要に応じてエサとなる広葉樹の植栽を合わせ行う。</p> <p>2 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 放置された里山の間伐等 （里山に接する耕作放棄地の整備を含む。） ・ 奥山への広葉樹の植栽 ・ 里道整備 <p>3 実施方法 委託</p> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 0 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実施個所 クマの出没が多い中山間地域の森林等でモデル的に実施 ・ 実施体制 緑の雇用担い手育成事業等で新規参入した者の能力向上研修として実施 </div> <p>4 雇用見込人数 7人</p>		
<p>担当課・係名</p>	<p>森林保全課森林保全担当</p>	<p>課・係 電話番号</p>	<p>075 - 414 - 5021</p>

平成 17 年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

<p>事 業 名</p>	<p>緑の公共事業費 森のゼロエミッション治山事業費</p>		
<p>予 算 額</p>	<p>25,000千円</p>	<p>新規・継続の別</p>	<p>継 続</p>
<p>事業内容</p> <p>[目 的 対 象 方 法 等]</p>	<p>1 趣 旨 府内産間伐材を利用した木製治山ダムの整備と、現地固有樹種による周辺森林整備を一体的に行い、ダムの建設等で排出される二酸化炭素をダムのライフサイクルの中で回収する、ゼロエミッション型の治山事業を推進する。</p> <p>2 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 木製治山ダムの整備 2基 ・ 治山ダム周辺荒廃森林の現地固有樹種による整備 <p>3 実施予定箇所 宇治市槇島町槇尾山 ほか1箇所</p>		
<p>担当課・係名</p>	<p>森林保全課治山担当</p>	<p>課・係 電話番号</p>	<p>075 - 414 - 5028</p>

平成 17 年度当初予算案主要事項説明

土木建築部

事業名	緑の公共事業費 緑の河川復活事業費		
予算額	100,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 [目的 対象 方法等]	<p>1 趣 旨 府内産間伐材を利用した工法などにより、環境に配慮した事業を推進するとともに、京都の優れた自然環境・景観の保全と活用を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 環境に配慮した河川整備 木工沈床・階段工等に間伐材を利用し、生物の生息・育成環境に配慮するとともに、親水性の向上を図る。 ・ 河川施設の維持修繕 根固工・護岸工に間伐材を利用し、護岸・堤体の安定を図る。 <p>3 雇用見込人数 93人</p>		
担当課・係名	河川課河川係	課・係 電話番号	075 - 414 - 5285

平成 17 年度当初予算案主要事項説明

土木建築部

事業名	緑の公共事業費 緑の渓流復活事業費		
予算額	30,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 [目的 対象 方法等]	<p>1 趣 旨 府内産間伐材を利用した工法などにより、環境に配慮した事業を推進するとともに、京都の優れた自然環境・景観の保全と活用を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境に配慮した渓流整備 木製ブロック積工等に間伐材等地域資源を利用し、沢ガニやホタル等の生息できる護岸整備を実施 <p>3 雇用見込人数 12人</p>		
担当課・係名	砂防課事業係	課・係 電話番号	075 - 414 - 5315

平成 17 年度当初予算案主要事項説明

土木建築部

事業名	緑の公共事業費 緑の散策道等再生事業費		
予算額	10,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 [目的 対象 方法等]	1 趣 旨 府内産間伐材を利用した工法などにより、環境に配慮した事業を推進するとともに、京都の優れた自然環境・景観の保全と活用を図る。 2 事業概要 ・ 環境に配慮した公園施設整備 間伐材を利用し都市公園の遊具等の再整備を実施 3 雇用見込人数 6人		
担当課・係名	公園緑地課建設係	課・係 電話番号	075 - 414 - 5272

平成 17 年度当初予算案主要事項説明

土木建築部

事業名	緑の公共事業費 府営住宅建設費											
予算額	27,216千円	新規・継続の別	継続									
<p>事業内容</p> <p>〔 目的 対象 方法等 〕</p>	<p>1 趣 旨</p> <p>府営住宅の整備にあたり、府内産木材を積極的に活用することにより、「木」のぬくもりの感じられるより快適で住みやすい住宅づくりを促進する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>府営住宅集会所を木造とし、土台・柱・梁等の構造用部材、仕上げ材及び下地材に府内産木材を使用</p> <p>3 実施箇所</p> <p>2 団地 集会所 2 棟</p> <table border="1" data-bbox="518 1240 1302 1397"> <thead> <tr> <th>団地名</th> <th>所在地</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向河原団地</td> <td>船井郡園部町小山東町向河原</td> <td>集会所</td> </tr> <tr> <td>湯田団地</td> <td>京丹後市峰山町荒山下湯田</td> <td>集会所</td> </tr> </tbody> </table>			団地名	所在地	備考	向河原団地	船井郡園部町小山東町向河原	集会所	湯田団地	京丹後市峰山町荒山下湯田	集会所
団地名	所在地	備考										
向河原団地	船井郡園部町小山東町向河原	集会所										
湯田団地	京丹後市峰山町荒山下湯田	集会所										
担当課・係名	住宅課建設係	課・係 電話番号	075 - 414 - 5360									

平成 17 年度当初予算案主要事項説明

土木建築部

事業名	緑の公共事業費 府営住宅ストック総合活用事業費		
予算額	21,000千円	新規・継続の別	継続
<p>事業内容</p> <p>〔 目的 対象 方法等 〕</p>	<p>1 趣 旨</p> <p>府営住宅の整備にあたり、住戸内部の木製パネルの枠材に府内産木材を積極的に活用することにより、「木」のぬくもりの感じられるより快適で住みやすい住宅づくりを促進する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>府営住宅トータルリモデル事業における住戸内部の壁、床部分に使用している木製パネルの枠材に府内産木材を使用</p> <p>3 実施箇所</p> <p>西大久保団地（宇治市大久保町平盛） 1棟70戸</p> <p>トータルリモデル（全面的改善）事業</p> <p>府営住宅の長期活用に向けた再生事業であり、建物の躯体（鉄筋コンクリート構造部分）を残して、住戸内部を撤去し、新築とほぼ同水準の住宅に改善するもの。 （約1/2のコストで新築並みの効果）</p>		
担当課・係名	住宅課建設係	課・係 電話番号	075 - 414 - 5360

平成 17 年度当初予算案主要事項説明

農林水産部・教育委員会

<p>事業名</p>	<p>緑の公共事業費 木の香あふれる学校環境整備事業費</p>		
<p>予算額</p>	<p>20,000千円</p>	<p>新規・継続の別</p>	<p>継続</p>
<p>事業内容</p> <p>〔 目的 対象 方法等 〕</p>	<p>1 趣 旨 学校教育の場に府内産間伐材等を活用した備品を導入し、地球環境保全の大切さが実感でき、豊かで快適な学習環境を提供するとともに、府内産木材の需要拡大を図り、厳しい雇用・経済情勢の中、雇用機会の確保に資する。</p> <p>2 事業概要 (1) 府立学校施設分 府内産間伐材等を利用した府立学校の備品の整備 整備例 ・ 特別教室用の机・椅子 ・ 屋外用ベンチ ・ 書架、棚 ・ 角椅子 (2) 補助事業分 小中学校、幼稚園等の生徒や児童等の机と椅子等を府内産間伐材等を利用した木製品へ更新する費用の一部を助成 助成例 ・ 普通教室への児童用机・椅子、及び書架等のその他木製品 ・ 特別教室への長机・角椅子、及び書架等のその他木製品</p> <p>3 実施方法 府立学校施設分は備品の製作を木材組合連合会に委託 市町村等への補助事業分は、実施市町村等が実施</p> <p>4 雇用見込人員 24人</p>		
<p>担当課・係名</p>	<p>林務課林産振興担当 教育庁管理課管理係</p>	<p>課・係 電話番号</p>	<p>075 - 414 - 5011 075 - 703 - 5768</p>

平成 17 年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

<p>事 業 名</p>	<p>緑の公共事業費 ウッドマイレージ認証木材普及事業費</p>		
<p>予 算 額</p>	<p>21,000千円</p>	<p>新規・継続の別</p>	<p>継 続</p>
<p>事業内容</p> <p>〔 目 的 対 象 方 法 等 〕</p>	<p>1 趣 旨 府民レベルで森林を守り地球温暖化防止対策を推進する仕組みを確立し、間伐材等の府内産木材が公共事業で確実に利用される取組を推進する。</p> <p>2 事業概要 ウッドマイレージCO₂認証制度普及事業 ウッドマイレージCO₂認証制度の府民及び事業者等への普及 住宅ウッドマイレージCO₂認証実証事業 ウッドマイレージCO₂認証制度の一般住宅への適用拡大についての調査研究とモデルケースによる実証 ウッドマイレージ認証木材普及推進事業 ア 間伐材利用新ルート開拓 素材生産業者が共同して集出荷するウッドマイレージCO₂認証取得間伐材を対象に、出材及び需給情報管理等に係る経費に助成 イ 間伐材流通促進 森林組合が集出荷するウッドマイレージCO₂認証取得間伐材を対象に、伐採現場から加工施設への出材・運搬に係る経費に助成</p> <p>3 事業主体 及び ；府 ；森林組合等</p> <p>4 補 助 率 のア；1 / 2 のイ；4 / 10</p> <p>5 雇用見込人数 17人</p> <p>注) ウッドマイレージCO₂とは 木材輸送過程のエネルギー消費を少なくし環境にやさしい木の利用を促進するため、木材産地からの輸送形状(原木、製品)及び輸送手段(自動車、鉄道、船舶等)ごとの距離に応じて排出される二酸化炭素の量と、当該木材の材積を乗じて得られる指数</p>		
<p>担当課・係名</p>	<p>林務課林産振興担当 林務課専門技術員室</p>	<p>課・係 電話番号</p>	<p>075 - 414 - 5011 075 - 414 - 5005</p>

平成 17 年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

<p>事 業 名</p>	<p>緑の公共事業費 特定鳥獣保護管理推進事業費</p>		
<p>予 算 額</p>	<p>32,850千円</p>	<p>新規・継続の別</p>	<p>継 続</p>
<p>事業内容</p> <p>〔 目 的 対 象 方 法 等 〕</p>	<p>1 趣 旨 特定鳥獣保護管理計画に基づく適切な被害防除、個体数管理、生息地管理を実施する。</p> <p>2 事業概要 野生鳥獣被害対策新技術開発事業 より効果的で低コストな新たな被害防止対策技術の開発 ツキノワグマ保護管理事業 誤捕獲等されたツキノワグマの奥山放獣及び生息動態管理 クマ剥ぎ被害防止緊急対策事業 激甚な被害が発生する恐れのある市町村を対象にしたクマ剥ぎ防止テープの樹幹への巻き付け 野生鳥獣生息動態調査事業 科学的な調査手法により現状を客観的に把握し、その結果に基づく総合的な対策の確立</p> <p>3 実施方法 ・ ・ 民間企業等への委託 市町村への補助（補助率85%）</p> <p>4 雇用見込人数 20人</p>		
<p>担当課・係名</p>	<p>森林保全課森林保全担当</p>	<p>課・係 電話番号</p>	<p>075 - 414 - 5021</p>

平成 17 年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	緑の公共事業費 野生鳥獣被害対策事業費		
予算額	73,625千円	新規・継続の別	継 続
<p>事業内容</p> <p>〔 目 的 対 象 方 法 等 〕</p>	<p>1 趣 旨</p> <p>野生鳥獣による農林業被害が拡大する一方、生息数の減少している希少動物等の保護が求められており、共生・共存を重視しながら総合的な被害防止対策を実施する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>野生鳥獣被害総合対策事業</p> <p>農林業被害を及ぼす野生鳥獣の生息域が複数の市町村にまたがり被害が多発する地域で、一体的に有害鳥獣捕獲を実施し、効果的に被害防除と個体数調整を図るとともに、野生鳥獣による農林業被害の多発地域で、防除計画及び捕獲計画を策定し、より効果的で低コストな被害防止対策を実施する。</p> <p>鳥獣害防止対策推進事業</p> <p>農林業被害を未然に防止するために行う鳥獣の追い払い</p> <p>3 実施主体</p> <p>市町村</p> <p>4 補助率</p> <p>1 / 2 以内</p>		
担当課・係名	森林保全課森林保全担当	課・係 電話番号	075 - 414 - 5021

平成 17 年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

<p>事 業 名</p>	<p>緑の公共事業費 ナラ枯れ被害対策事業費</p>		
<p>予 算 額</p>	<p>2,111千円</p>	<p>新規・継続の別</p>	<p>継 続</p>
<p>事業内容</p> <p>[目 的 対 象 方 法 等]</p>	<p>1 趣 旨 森林病虫害等防除法に基づいて、森林の公益的機能を維持するため、カシノナガキクイムシによるナラ類被害の防除対策を実施する。</p> <p>2 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伐倒駆除 75 m³ ・ 立木ビニール被覆 514本 <p>3 事業主体 市町村等</p> <p>4 補助率 3 / 4</p> <p>5 雇用見込人数 3人</p>		
<p>担当課・係名</p>	<p>森林保全課森林整備担当</p>	<p>課・係 電話番号</p>	<p>075 - 414 - 5026</p>

平成 17 年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

<p>事 業 名</p>	<p>緑の公共事業費 松くい虫等防除関連事業費</p>		
<p>予 算 額</p>	<p>90,228千円</p>	<p>新規・継続の別</p>	<p>継 続</p>
<p>事業内容</p> <p>[目 的 対 象 方 法 等]</p>	<p>1 趣 旨 森林病虫害等防除法に基づいて、森林の公益的機能を維持するため、守るべき松林を中心に、松くい虫等の防除対策を実施する。</p> <p>2 事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 伐倒駆除 4,524 m³ ・ 地上散布 214 ha ・ 樹幹注入 1,740本 <p>3 事業主体 市町村等</p> <p>4 補助率</p> <ul style="list-style-type: none"> 命令駆除 10 / 10 奨励駆除 3 / 4 単費駆除 2 / 3 <p>5 雇用見込人数 99人</p>		
<p>担当課・係名</p>	<p>森林保全課森林整備担当</p>	<p>課・係 電話番号</p>	<p>075 - 414 - 5026</p>

平成 17 年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

<p>事 業 名</p>	<p>緑の公共事業費 京都モデルフォレスト創造事業費</p>		
<p>予 算 額</p>	<p>4,200千円</p>	<p>新規・継続の別</p>	<p>継 続</p>
<p>事業内容</p> <p>〔 目 的 対 象 方 法 等 〕</p>	<p>1 趣 旨 土地所有者、地域住民、NPO、企業等の森林を核とした環境保全活動を推進するため、活動主体間の連携やネットワーク化、指導者の育成等を図り、府民参加による森林を守り活かす仕組みづくりを推進する。</p> <p>2 事業概要 府民協働体制整備事業 土地所有者、地域住民、NPO、企業、大学、行政等の多様な主体の参加によるワークショップや円卓会議を開催し、交流と相互理解を促進するとともに、活動をコーディネートする協働組織体制の整備を進める。 府民参加の美しい里山づくり事業 森林ボランティア等を指導する林業者等を「里山整備マイスター」として認定し、その指導を通じて森林整備の担い手となるボランティアを育成するとともに、基礎的な安全講習等を実施し、府民参加の森林整備等のすそ野を広げる。 府民がつくる温暖化防止モデル林整備事業 ボランティア、NPO、企業等が土地所有者と管理協定等を締結して実施する森林整備を促進する。</p> <p>3 事業主体 、 京都府 市町村</p> <p>4 補助率 1 / 2 以内</p>		
<p>担当課・係名</p>	<p>林 務 課 計 画 指 導 担 当 緑の公共事業推進プロジェクト</p>	<p>課・係 電話番号</p>	<p>075 - 414 - 5002 075 - 414 - 5015</p>

平成 17 年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

<p>事 業 名</p>	<p>緑の公共事業費 京都の木のネットワークづくり事業費</p>		
<p>予 算 額</p>	<p>1,900千円</p>	<p>新規・継続の別</p>	<p>継 続</p>
<p>事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕</p>	<p>1 趣 旨 府内において京都の木で京都の家を建てる取組を進めている団体の取組を支援し、そのネットワークの充実強化促進を通じて、府内産木材利用の一層の拡大を図る。</p> <p>2 事業概要 京都の木の家づくり講座や住宅相談会等の活動に対する助成</p> <p>3 実施主体 府内産木材の生産者、流通業者、消費者等で組織する団体</p> <p>4 補助率 1 / 2</p>		
<p>担当課・係名</p>	<p>林務課林産振興担当 林務課専門技術員室</p>	<p>課・係 電話番号</p>	<p>075 - 414 - 5011 075 - 414 - 5005</p>

平成 17 年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事 項 名	農林水産部関係公共事業費					
予 算 額	9,015,215千円		新規・継続の別	継 続		
事業内容 目的 対象 方法等	【平成17年度農林水産部関係公共事業費】					
	課名	事業名	事業主体	平成17年度 当初予算額 (千円)	前年度 当初予算額 (千円)	前年比 (%)
	耕 地 課	府営農業基盤 整備事業	府	1,583,864	2,056,526	77.0
		団体営農業基盤 整備事業	市町村 土地改良区	1,755,176	1,446,121	121.4
		国直轄事業負担金	国 緑資源機構	2,412,518	2,426,794	99.4
		小計		5,751,558	5,929,441	97.0
	水 産 課	沿岸漁場整備開発 事業	府 市町村	155,951	160,321	97.3
		漁港関係施設等 整備事業	府 市町村	626,890	646,732	96.9
		小計		782,841	807,053	97.0
	林 森 林 保 全 課	造林事業	市町村 森林組合等	803,820	854,921	94.0
		林道事業	府 市町村	367,554	432,270	85.0
		治山事業	府 市町村	1,309,442	1,466,015	89.3
		小計		2,480,816	2,753,206	90.1
	合 計			9,015,215	9,489,700	95.0
	担当課・係名	耕地課総務計画担当 水産課漁港係 森林保全課治山担当	課・係電話番号	075 - 414 - 5036 075 - 414 - 4994 075 - 414 - 5028		

平成 17 年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	農林水産部関係公共事業費（台風 23 号関連）		
予算額	581,489 千円	新規・継続の別	新規
<p>事業内容</p> <p>〔 目的 対象 方法等 〕</p>	<p>目的 台風、集中豪雨等により、著しく激甚な災害が発生した一連の地区に対して、再度災害防止を図るため緊急かつ集中的に荒廃山地等の復旧整備を実施する。 災害発生当年度は災害関連緊急治山事業で実施し、次年度以降 3 ヶ年間で治山激甚災害対策特別緊急事業を実施する。</p> <p>採択範囲 林地の崩壊、土砂の流出、地すべり等により全壊家屋数がおおむね 50 棟以上又は浸水家屋戸数が 2,000 戸以上の一連の地区等で、緊急に実施することが必要な治山事業、砂防事業、地すべり対策事業に係る全体事業費の合計額がおおむね 10 億円以上であり、かつ、災害発生の初年度に災害関連緊急治山事業が実施された地域</p> <p>事業内容 ・ 荒廃溪流の復旧整備（治山ダム・流路工・護岸工等） ・ 山腹崩壊地の復旧整備（山腹工等）</p> <p>実施予定箇所 ・ 地区名：京都府中丹・丹後地区 〔 5 市 2 町 - 綾部市、福知山市、大江町、舞鶴市、宮津市、加悦町、京丹後市 〕 ・ 宮津市滝馬 他 36 箇所</p> <p>財源内訳 国費 5.5/10 府費 4.5/10</p>		
担当課・係名	森林保全課治山担当	課・係 電話番号	075 - 414 - 5028

平成17年度当初予算案主要事項説明

農林水産部

事業名	食の安心・安全推進事業費																
予算額	5,000千円	新規・継続の別	新規														
事業内容 [目的 対象 方法等]	<p>1 趣 旨 食品生産・製造段階における品質管理向上対策や生産情報の開示を促進する登録制度の構築等により「安心・安全の基盤」を強化するとともに、併せて「食品のリスク」に関するコミュニケーションや事業者におけるコンプライアンスの取り組みなどにより「食の信頼づくり」を推進する。</p> <p>2 事業概要</p> <table border="1" data-bbox="464 880 1374 1675"> <thead> <tr> <th data-bbox="464 880 663 947">区 分</th> <th data-bbox="663 880 1374 947">事 業 内 容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2" data-bbox="464 947 1374 1014" style="text-align: center;">食の安心・安全基盤強化事業</td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1014 663 1160">京 都 版 H A C C P 推 進 事 業</td> <td data-bbox="663 1014 1374 1160">食品の品質管理の取り組みを支援するため、H A C C Pの考え方を取り入れた京都府独自の品質管理手法を食品製造事業者等と構築する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1160 663 1294">き よ う と 信 頼 食 品 登 録 事 業</td> <td data-bbox="663 1160 1374 1294">消費者が安心して食品を選べるよう、生産・品質管理や情報開示に関する基準を満たす農産物・食品を登録する制度を構築する。</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="464 1294 1374 1361" style="text-align: center;">きょうと食の信頼づくり推進事業</td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1361 663 1541">食 の 安 心 ・ 安 全 セ ミ ナ ー 開 催 事 業</td> <td data-bbox="663 1361 1374 1541">食品の安全確保の取組や食品のリスクに関して分かりやすく正確な情報を消費者に提供するため、「食の安心・安全セミナー」や「食の座談会」を開催する。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="464 1541 663 1675">コ ン プ ラ イ ア ン ス 推 進 事 業</td> <td data-bbox="663 1541 1374 1675">食品関係事業者を対象に「^{注2}コンプライアンス導入の手引き」(仮称)の作成と啓発を行う。</td> </tr> </tbody> </table> <p>注) 1 H A C C P ...原材料から加工・包装・出荷に至るすべての段階で発生する可能性のある食品衛生上の問題点を検討し、その発生を防止又は減少させる管理方式</p> <p>2 コンプライアンス ...法律や規則を守ること。法令遵守</p>			区 分	事 業 内 容	食の安心・安全基盤強化事業		京 都 版 H A C C P 推 進 事 業	食品の品質管理の取り組みを支援するため、H A C C Pの考え方を取り入れた京都府独自の品質管理手法を食品製造事業者等と構築する。	き よ う と 信 頼 食 品 登 録 事 業	消費者が安心して食品を選べるよう、生産・品質管理や情報開示に関する基準を満たす農産物・食品を登録する制度を構築する。	きょうと食の信頼づくり推進事業		食 の 安 心 ・ 安 全 セ ミ ナ ー 開 催 事 業	食品の安全確保の取組や食品のリスクに関して分かりやすく正確な情報を消費者に提供するため、「食の安心・安全セミナー」や「食の座談会」を開催する。	コ ン プ ラ イ ア ン ス 推 進 事 業	食品関係事業者を対象に「 ^{注2} コンプライアンス導入の手引き」(仮称)の作成と啓発を行う。
区 分	事 業 内 容																
食の安心・安全基盤強化事業																	
京 都 版 H A C C P 推 進 事 業	食品の品質管理の取り組みを支援するため、H A C C Pの考え方を取り入れた京都府独自の品質管理手法を食品製造事業者等と構築する。																
き よ う と 信 頼 食 品 登 録 事 業	消費者が安心して食品を選べるよう、生産・品質管理や情報開示に関する基準を満たす農産物・食品を登録する制度を構築する。																
きょうと食の信頼づくり推進事業																	
食 の 安 心 ・ 安 全 セ ミ ナ ー 開 催 事 業	食品の安全確保の取組や食品のリスクに関して分かりやすく正確な情報を消費者に提供するため、「食の安心・安全セミナー」や「食の座談会」を開催する。																
コ ン プ ラ イ ア ン ス 推 進 事 業	食品関係事業者を対象に「 ^{注2} コンプライアンス導入の手引き」(仮称)の作成と啓発を行う。																
担当課・係名	食の安心・安全プロジェクト	課・係 電話番号	075 - 414 - 5652														

平成 17 年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	中山間地域等直接支払事業費																	
予算額	459,279千円	新規・継続の別	継 続															
事業内容 [目 的 対 象 方 法 等]	<p>1 趣 旨 耕作放棄地の増加等により、多面的機能の低下が懸念される中山間地域等において、集落機能の維持・強化を通じて、多面的機能を確保する観点から直接支払を実施する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1)対象地域：地域振興 8 法（特定農山村、山村、過疎、半島振興等）指定地域及び特認地域内の農振農用地</p> <p>(2)対象行為：集落協定等に基づき、5 年間以上継続して行われる農業生産活動等</p> <p>(3)対 象 者：協定等に基づき、農業生産活動等を行う者</p> <p>(4)実施期間：平成 17 年度～ 21 年度（一部、制度見直しの予定）</p> <p>(5)交付単価 〔数値単位：円 / 10a〕</p> <table border="1" data-bbox="427 1216 1410 1413"> <tr> <td></td> <td>急傾斜（田 1/20 ～、畑 15 度～）</td> <td>緩傾斜（田 1/100 ～、畑 8 度～）</td> </tr> <tr> <td>田</td> <td>21,000</td> <td>8,000</td> </tr> <tr> <td>畑</td> <td>11,500</td> <td>3,500</td> </tr> </table> <p>* 新規就農や担い手の規模拡大については田 1,500 円、畑 500 円の上乗せ</p> <p>(6)実施主体：市町村</p> <p>(7)負担区分</p> <table border="1" data-bbox="459 1576 1315 1675"> <tr> <td>国 1 / 2</td> <td>府 1 / 4</td> <td>市町村 1 / 4（特認以外）</td> </tr> <tr> <td>国 1 / 3</td> <td>府 1 / 3</td> <td>市町村 1 / 3（特 認）</td> </tr> </table> <p>* 特認...地域振興 8 法以外の地域において、中立的な第三者委員会の意見を聴いて、知事が制度の対象とする条件不利な地域及び農用地の基準を定めたもの。</p> <p>(8)平成 17 年度想定面積 約 4,234ha（田約 4,159ha、畑約 75ha）</p>				急傾斜（田 1/20 ～、畑 15 度～）	緩傾斜（田 1/100 ～、畑 8 度～）	田	21,000	8,000	畑	11,500	3,500	国 1 / 2	府 1 / 4	市町村 1 / 4（特認以外）	国 1 / 3	府 1 / 3	市町村 1 / 3（特 認）
	急傾斜（田 1/20 ～、畑 15 度～）	緩傾斜（田 1/100 ～、畑 8 度～）																
田	21,000	8,000																
畑	11,500	3,500																
国 1 / 2	府 1 / 4	市町村 1 / 4（特認以外）																
国 1 / 3	府 1 / 3	市町村 1 / 3（特 認）																
担当課・係名	農村振興課担い手育成担当	課・係 電話番号	075 - 414 - 4902															

平成17年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	ふるさとのあすをひらく新規就業支援事業費																		
予算額	31,650千円	新規・継続の別	継 続																
事業内容 [目 的 対 象 方 法 等]	<p>1 趣 旨 就農経験のない若者や定年帰農希望者等を、高齢化等が急速に進行している農林水産業分野に受け入れる仕組みを確立することにより、担い手の確保・育成を図る。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 農林水産業入門支援事業費</p> <table border="1" data-bbox="438 891 1404 1066"> <tr> <td>事業主体</td> <td>京都府農業会議</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>農林水産業入門支援センターの設置 新規参入希望者(農業・林業・水産業)に対する相談窓口の一元化 実践農場等研修先の紹介、連携 等</td> </tr> </table> <p>(2) 実践農場整備事業費 就農希望者が研修後も継続して就農できる実践農場の整備</p> <table border="1" data-bbox="438 1249 1404 1686"> <tr> <td>事業主体</td> <td>府 (一部京都府農業開発公社に委託)</td> <td>市 町 村 等</td> </tr> <tr> <td>事業内容</td> <td>農場運営管理者の設置 農地の選定、借上げ等 研修終了後も同一農地での就農 を図ることができる農場の整備 農場指導者の設置</td> <td>住宅確保等の地域調整を図る担 い手づくり後見人の設置、活動 支援 農地の整備、ハウス・機械等の 借上げ</td> </tr> <tr> <td>対 象 者</td> <td colspan="2">新規参入者(非農家子弟)</td> </tr> <tr> <td>備 考</td> <td colspan="2">実雇用人数29人</td> </tr> </table>			事業主体	京都府農業会議	事業内容	農林水産業入門支援センターの設置 新規参入希望者(農業・林業・水産業)に対する相談窓口の一元化 実践農場等研修先の紹介、連携 等	事業主体	府 (一部京都府農業開発公社に委託)	市 町 村 等	事業内容	農場運営管理者の設置 農地の選定、借上げ等 研修終了後も同一農地での就農 を図ることができる農場の整備 農場指導者の設置	住宅確保等の地域調整を図る担 い手づくり後見人の設置、活動 支援 農地の整備、ハウス・機械等の 借上げ	対 象 者	新規参入者(非農家子弟)		備 考	実雇用人数29人	
事業主体	京都府農業会議																		
事業内容	農林水産業入門支援センターの設置 新規参入希望者(農業・林業・水産業)に対する相談窓口の一元化 実践農場等研修先の紹介、連携 等																		
事業主体	府 (一部京都府農業開発公社に委託)	市 町 村 等																	
事業内容	農場運営管理者の設置 農地の選定、借上げ等 研修終了後も同一農地での就農 を図ることができる農場の整備 農場指導者の設置	住宅確保等の地域調整を図る担 い手づくり後見人の設置、活動 支援 農地の整備、ハウス・機械等の 借上げ																	
対 象 者	新規参入者(非農家子弟)																		
備 考	実雇用人数29人																		
担当課・係名	農村振興課担い手育成担当	課・係 電話番号	075 - 414 - 4902																

平成17年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	農のあるライフスタイル実現プロジェクト推進事業費		
予算額	4,000千円	新規・継続の別	新規
<p>事業内容</p> <p>〔 目 的 対 象 方 法 等 〕</p>	<p>1 趣 旨 農山村部で進行する担い手不足のなか、長寿化に伴う新たな暮らし方として「農のあるライフスタイル」を求め、農山村に移り住んだ都市住民を農山村の多様な担い手として位置付け、共に地域の環境を守り、生き生きした農山村づくりを進める。</p> <p>2 内 容</p> <p><u>(1) 京の田舎ぐらしセンター（仮称）の開設</u> 農と親しみ農を支える都市住民の移住を支援するため、府内のさまざまな田舎ぐらし情報を提供し、また、相談に応じるワンストップサービス窓口を京都市域に設置する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 田舎ぐらし実践講座（連続講座・農業農村体験）などの各種講座の紹介 ・ 府内の農山村の就農情報、生活情報、住居情報などの提供 ・ 住居情報を提供している市町村窓口の紹介 <p><u>(2) 農のあるライフスタイル提案事業</u></p> <p>京の田舎ぐらし実践講座 大学と連携し、ライフスタイルが見直される時代においてどのように自己実現を図るのか、そのフィールドとしての農山村の価値などをテーマに連続講座を開催し、「農と親しみ農を支える京の田舎ぐらし」の提案を行う。 また、農業大学校で農作物の栽培、里山管理、地域の維持管理などについて学ぶ、短期集中講座を開催する。</p> <p>農のあるライフスタイル創造事業 農のある暮らしに関心のある企業従事者を対象に「農のある暮らし体感ツアー」や「相談会」を開催する。</p> <p>座談会田舎ぐらし 田舎ぐらしに興味を持つ中高年を対象に、地域に応じた暮らし方について提案する座談会を各振興局管内毎に開催する。</p> <p>田舎ぐらしワークショップ 府立大学と連携し、移住を予定している都市住民と農村住民が共働して田舎ぐらしの課題を解決する方策を探るワークショップを開催する。</p> <p><u>(3) 京の田舎ぐらし受け入れ対策事業</u> 京の田舎ぐらしを進めるために、各市町村の農山村地域において住宅地、空き家、市町村営住宅などを紹介する農山村住居情報バンクの整備を促進し、そのネットワーク化を図るなど総合的な農山村住居対策を展開する。</p>		
担当課・係名	農村振興課地域振興担当	課・係 電話番号	075 - 414 - 4906

平成17年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	「いただきます。地元産」プラン推進事業費																																
予算額	9,500千円	新規・継続の別	継続																														
事業内容 [目的 対象 方法等]	<p>1 趣 旨 安全・新鮮でおいしいブランド京野菜等地元農産物の学校や病院、福祉施設等での給食利用の推進 学校給食、体験学習を通じて子ども達の地元農産物や農業・農村に対する関心を高め、食文化や食生活への理解を深める。</p> <p>2 内 容</p> <p>(1) 京都府段階の協議会の設置</p> <table border="1" data-bbox="411 846 1385 1025"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「いただきます。地元産」プラン京都府推進協議会設置運営事業</td> <td>府内全域において、ブランド京野菜等地元野菜を利用した学校給食の実施に向けた取組が推進されるよう、府内の気運を高めるため、府段階において協議会を設置する。</td> <td>千円 500</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 京野菜等地元野菜を利用した学校給食のモデル実施に対する取組支援</p> <table border="1" data-bbox="411 1106 1385 1261"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「京野菜等地元野菜給食の日」実施モデル事業</td> <td>市町村がモデル校を選定し、モデル校で地元野菜を利用した学校給食の実施に向けた取組に対して支援する。</td> <td>千円 1,500</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 食文化・食生活への理解促進</p> <table border="1" data-bbox="411 1319 1385 1473"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>農と食のふれあい支援事業</td> <td>地元の農場や農産加工場等において農業に関わる見学会、体験学習を市町村の協力を得ながら府が実施する。</td> <td>千円 2,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>(4) 地元産米利用促進の取組</p> <table border="1" data-bbox="411 1538 1385 1666"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地元産米の給食利用推進事業</td> <td>市町村が学校給食に地元産米を利用する際、その使用量に応じて助成する。</td> <td>千円 5,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 病院や福祉施設での地元農産物利用促進</p> <table border="1" data-bbox="411 1751 1385 1881"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> <th>事業費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>病院・福祉施設地元産利用促進懇話会設置運営事業</td> <td>病院や福祉施設での地元農産物利用を促進するため、府段階における懇話会及び地域検討会を開催する。</td> <td>千円 500</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 事業実施期間 平成16年度～19年度(4年間)</p>			事業名	事業内容	事業費	「いただきます。地元産」プラン京都府推進協議会設置運営事業	府内全域において、ブランド京野菜等地元野菜を利用した学校給食の実施に向けた取組が推進されるよう、府内の気運を高めるため、府段階において協議会を設置する。	千円 500	事業名	事業内容	事業費	「京野菜等地元野菜給食の日」実施モデル事業	市町村がモデル校を選定し、モデル校で地元野菜を利用した学校給食の実施に向けた取組に対して支援する。	千円 1,500	事業名	事業内容	事業費	農と食のふれあい支援事業	地元の農場や農産加工場等において農業に関わる見学会、体験学習を市町村の協力を得ながら府が実施する。	千円 2,000	事業名	事業内容	事業費	地元産米の給食利用推進事業	市町村が学校給食に地元産米を利用する際、その使用量に応じて助成する。	千円 5,000	事業名	事業内容	事業費	病院・福祉施設地元産利用促進懇話会設置運営事業	病院や福祉施設での地元農産物利用を促進するため、府段階における懇話会及び地域検討会を開催する。	千円 500
事業名	事業内容	事業費																															
「いただきます。地元産」プラン京都府推進協議会設置運営事業	府内全域において、ブランド京野菜等地元野菜を利用した学校給食の実施に向けた取組が推進されるよう、府内の気運を高めるため、府段階において協議会を設置する。	千円 500																															
事業名	事業内容	事業費																															
「京野菜等地元野菜給食の日」実施モデル事業	市町村がモデル校を選定し、モデル校で地元野菜を利用した学校給食の実施に向けた取組に対して支援する。	千円 1,500																															
事業名	事業内容	事業費																															
農と食のふれあい支援事業	地元の農場や農産加工場等において農業に関わる見学会、体験学習を市町村の協力を得ながら府が実施する。	千円 2,000																															
事業名	事業内容	事業費																															
地元産米の給食利用推進事業	市町村が学校給食に地元産米を利用する際、その使用量に応じて助成する。	千円 5,000																															
事業名	事業内容	事業費																															
病院・福祉施設地元産利用促進懇話会設置運営事業	病院や福祉施設での地元農産物利用を促進するため、府段階における懇話会及び地域検討会を開催する。	千円 500																															
担当課・係名	農産流通課野菜係	課・係 電話番号	075 - 414 - 4944																														

平成17年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	ブランド京野菜等倍増戦略事業費																	
予算額	227,669千円	新規・継続の別	継続															
事業内容 [目的 対象 方法等]	京野菜こだわりプロジェクト推進事業費 206,369千円																	
	1 趣 旨 京都らしい環境にやさしい農業への取組や、栽培方法等に係る情報の提供等を要件とした独自の新たな認証により、消費者等への信頼感を向上させ、ブランド京野菜の付加価値を高める。																	
	2 内 容																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>京野菜こだわり技術の実証、研究、普及事業</td> <td>土づくりの普及・啓発(土づくりコンクールの実施等)環境にやさしい農業技術の実証・普及環境にやさしい農業技術の研究・開発</td> <td>千円 9,000</td> </tr> <tr> <td>京野菜こだわり産地支援事業</td> <td>京都こだわり農法の導入活動支援 京都こだわり農法実践条件整備支援</td> <td>182,726</td> </tr> <tr> <td>京野菜こだわり土づくり支援事業</td> <td>地域の有機性資源循環利用促進や土づくり効果の実証等に対する支援</td> <td>3,050</td> </tr> <tr> <td>京都こだわり生産認証事業</td> <td>京都こだわり農法に基づき生産されたブランド京野菜等を認証するシステムの運営</td> <td>11,593</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	事業内容	予算額	京野菜こだわり技術の実証、研究、普及事業	土づくりの普及・啓発(土づくりコンクールの実施等)環境にやさしい農業技術の実証・普及環境にやさしい農業技術の研究・開発	千円 9,000	京野菜こだわり産地支援事業	京都こだわり農法の導入活動支援 京都こだわり農法実践条件整備支援	182,726	京野菜こだわり土づくり支援事業	地域の有機性資源循環利用促進や土づくり効果の実証等に対する支援	3,050	京都こだわり生産認証事業	京都こだわり農法に基づき生産されたブランド京野菜等を認証するシステムの運営	11,593		
	事業名	事業内容	予算額															
京野菜こだわり技術の実証、研究、普及事業	土づくりの普及・啓発(土づくりコンクールの実施等)環境にやさしい農業技術の実証・普及環境にやさしい農業技術の研究・開発	千円 9,000																
京野菜こだわり産地支援事業	京都こだわり農法の導入活動支援 京都こだわり農法実践条件整備支援	182,726																
京野菜こだわり土づくり支援事業	地域の有機性資源循環利用促進や土づくり効果の実証等に対する支援	3,050																
京都こだわり生産認証事業	京都こだわり農法に基づき生産されたブランド京野菜等を認証するシステムの運営	11,593																
ブランド京野菜等倍増推進事業費 21,300千円																		
1 趣 旨 確かなものづくりにより京野菜の魅力を更に強化し、ブランドイメージを高めるとともに、ブランド京野菜を多くの消費者・流通関係者に浸透させ、需要の拡大を図る。																		
2 事業内容																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名</th> <th>事業内容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>「京マーク」のPR事業</td> <td>様々なメディアを活用した「京マーク」のPR ブランド京野菜を使った料理コンテストの開催等</td> <td>千円 12,000</td> </tr> <tr> <td>観光産業連携事業</td> <td>旬の京野菜提供店等の案内人「京野菜の達人」の育成等、観光産業との連携によるブランド京野菜のPR</td> <td>2,300</td> </tr> <tr> <td>アンテナショップ等販売促進事業</td> <td>アンテナショップや販売協力店等での試食販売、京都らしさを前面に出した京の食文化・京野菜フェアの開催など、販売促進キャンペーンの実施</td> <td>7,000</td> </tr> </tbody> </table>	事業名	事業内容	予算額	「京マーク」のPR事業	様々なメディアを活用した「京マーク」のPR ブランド京野菜を使った料理コンテストの開催等	千円 12,000	観光産業連携事業	旬の京野菜提供店等の案内人「京野菜の達人」の育成等、観光産業との連携によるブランド京野菜のPR	2,300	アンテナショップ等販売促進事業	アンテナショップや販売協力店等での試食販売、京都らしさを前面に出した京の食文化・京野菜フェアの開催など、販売促進キャンペーンの実施	7,000						
事業名	事業内容	予算額																
「京マーク」のPR事業	様々なメディアを活用した「京マーク」のPR ブランド京野菜を使った料理コンテストの開催等	千円 12,000																
観光産業連携事業	旬の京野菜提供店等の案内人「京野菜の達人」の育成等、観光産業との連携によるブランド京野菜のPR	2,300																
アンテナショップ等販売促進事業	アンテナショップや販売協力店等での試食販売、京都らしさを前面に出した京の食文化・京野菜フェアの開催など、販売促進キャンペーンの実施	7,000																
担当課・係名	農産流通課 ブランド対策係 野菜係 環境保全係	課・係 電話番号	075 - 414 - 4940 4944 4967															

平成17年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	【宇治茶ルネサンス推進事業費】 「宇治茶」ブランド支援事業																													
予算額	427,707千円	新規・継続の別	継 続																											
<p>事業内容</p> <p>〔 目 的 対 象 方 法 等 〕</p>	<p>1 趣 旨</p> <p>府内産茶の増産が急務である中、平成16年度から「宇治茶」ブランド支援事業を立ち上げ、5カ年で100%の茶園増反を目標として、大規模茶園の新規造成に対し重点的に支援するとともに、早期成園化に向けた取り組みの強化を図る。</p> <p>とりわけ、増反の重点地域である丹後国営農地においては、新規に茶生産に取り組む生産者が、栽培・製造技術や流通の知識を早急に習得することが必要であり、平成17年度から新たに丹後地域の茶業経営者育成研修の場として、団体が設置する「茶の匠塾」の運営に対し支援を行う。</p> <p>2 事業概要</p> <table border="1" data-bbox="427 1039 1374 1659"> <thead> <tr> <th>事 項</th> <th>事 業 内 容</th> <th>予算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>茶園基盤整備</td> <td>大規模茶園の新規造成</td> <td>千円 267,700 [12.5ha]</td> </tr> <tr> <td>植栽条件整備</td> <td>排水対策、土づくり、土壌病虫害防除、苗木購入等</td> <td>41,695 [19ha]</td> </tr> <tr> <td>機械施設導入</td> <td>・施設整備（防霜ファン、点滴施肥システム）、機械導入 ・茶工場設置</td> <td>15,974</td> </tr> <tr> <td>実 証 ほ</td> <td>丹後国営茶園実証ほの設置</td> <td>898</td> </tr> <tr> <td>茶 の 匠 塾</td> <td>丹後地域の茶業経営者育成研修（新規）</td> <td>1,000</td> </tr> <tr> <td colspan="2">小 計</td> <td>327,267</td> </tr> <tr> <td>融 資</td> <td>・茶園育成経費に対する融資 [農業改良資金、農改特会] ・茶機械・施設の改良等に対する融資 [農業近代化資金]</td> <td>100,000 融資枠 (300,000)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>427,267</td> </tr> </tbody> </table> <p>3 実施主体</p> <p>茶園基盤・植栽条件整備、機械施設導入：営農集団、JA 実証ほ：京都府 融 資：茶生産農家、営農集団</p> <p>4 事業実施期間 平成16年度～20年度（5年間）</p>			事 項	事 業 内 容	予算額	茶園基盤整備	大規模茶園の新規造成	千円 267,700 [12.5ha]	植栽条件整備	排水対策、土づくり、土壌病虫害防除、苗木購入等	41,695 [19ha]	機械施設導入	・施設整備（防霜ファン、点滴施肥システム）、機械導入 ・茶工場設置	15,974	実 証 ほ	丹後国営茶園実証ほの設置	898	茶 の 匠 塾	丹後地域の茶業経営者育成研修（新規）	1,000	小 計		327,267	融 資	・茶園育成経費に対する融資 [農業改良資金、農改特会] ・茶機械・施設の改良等に対する融資 [農業近代化資金]	100,000 融資枠 (300,000)	合 計		427,267
事 項	事 業 内 容	予算額																												
茶園基盤整備	大規模茶園の新規造成	千円 267,700 [12.5ha]																												
植栽条件整備	排水対策、土づくり、土壌病虫害防除、苗木購入等	41,695 [19ha]																												
機械施設導入	・施設整備（防霜ファン、点滴施肥システム）、機械導入 ・茶工場設置	15,974																												
実 証 ほ	丹後国営茶園実証ほの設置	898																												
茶 の 匠 塾	丹後地域の茶業経営者育成研修（新規）	1,000																												
小 計		327,267																												
融 資	・茶園育成経費に対する融資 [農業改良資金、農改特会] ・茶機械・施設の改良等に対する融資 [農業近代化資金]	100,000 融資枠 (300,000)																												
合 計		427,267																												
担当課・係名	農産流通課茶業特産係	課・係 電話番号	075 - 414 - 4961																											

平成17年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	京の水田農業確立支援事業費																																
予算額	68,000千円	新規・継続の別	継続																														
<p>事業内容</p> <p>目的 対象 方法等</p>	<p>1 趣 旨</p> <p>新たな米政策の下では、売れる米づくりと生産者の主体的な判断を重視して米の需給調整に取り組みられるため、米価下落や米の産地間競争の激化等が懸念される。</p> <p>そこで、環境と食味にこだわった「こだわり京都米」づくりによる市場競争力のある府内産米の生産・販売対策の強化や、黒大豆・小豆等、地域特産物の省力機械化生産を重点的に進め、水田農業経営の強化を図る。</p> <p>「こだわり京都米」：減農薬、減化学肥料など、環境や安心・安全へのこだわりを実現する栽培方法により生産される米</p> <p>2 事業概要</p> <table border="1" data-bbox="446 1142 1388 1702"> <thead> <tr> <th>事業種目</th> <th>助成対象</th> <th>予算額</th> <th>地区数・補助率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">戦略的 こめ産地 導入支援 事業</td> <td>条件整備事業</td> <td>「こだわり京都米」づくりに必要なハード整備</td> <td>17,000</td> <td>4/10以内 10地区</td> </tr> <tr> <td>実証活動事業</td> <td>「こだわり京都米」づくりに必要な検討会、現地実証</td> <td>3,000</td> <td>1/2以内10、地区 2年間継続</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">戦略的 豆産地 導入支援 事業</td> <td>条件整備事業</td> <td>黒大豆、小豆の産地拡大、生産安定に必要なハード整備</td> <td>25,000</td> <td>4/10以内 5地区</td> </tr> <tr> <td>実証活動事業</td> <td>黒大豆、小豆の産地拡大、生産安定に向けての実証活動(機械収穫等)</td> <td>3,000</td> <td>1/2以内、10地区 2年間継続</td> </tr> <tr> <td>地域対応作物 導入支援事業</td> <td>麦等の土地利用型作物の生産拡大 等に必要なハード整備</td> <td>20,000</td> <td>4/10以内 6地区</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>68,000</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>3 実施主体 集落等営農組織、JA、市町村協議会等</p> <p>4 事業実施期間 平成16年度～19年度</p>			事業種目	助成対象	予算額	地区数・補助率	戦略的 こめ産地 導入支援 事業	条件整備事業	「こだわり京都米」づくりに必要なハード整備	17,000	4/10以内 10地区	実証活動事業	「こだわり京都米」づくりに必要な検討会、現地実証	3,000	1/2以内10、地区 2年間継続	戦略的 豆産地 導入支援 事業	条件整備事業	黒大豆、小豆の産地拡大、生産安定に必要なハード整備	25,000	4/10以内 5地区	実証活動事業	黒大豆、小豆の産地拡大、生産安定に向けての実証活動(機械収穫等)	3,000	1/2以内、10地区 2年間継続	地域対応作物 導入支援事業	麦等の土地利用型作物の生産拡大 等に必要なハード整備	20,000	4/10以内 6地区	合 計		68,000	
事業種目	助成対象	予算額	地区数・補助率																														
戦略的 こめ産地 導入支援 事業	条件整備事業	「こだわり京都米」づくりに必要なハード整備	17,000	4/10以内 10地区																													
	実証活動事業	「こだわり京都米」づくりに必要な検討会、現地実証	3,000	1/2以内10、地区 2年間継続																													
戦略的 豆産地 導入支援 事業	条件整備事業	黒大豆、小豆の産地拡大、生産安定に必要なハード整備	25,000	4/10以内 5地区																													
	実証活動事業	黒大豆、小豆の産地拡大、生産安定に向けての実証活動(機械収穫等)	3,000	1/2以内、10地区 2年間継続																													
地域対応作物 導入支援事業	麦等の土地利用型作物の生産拡大 等に必要なハード整備	20,000	4/10以内 6地区																														
合 計		68,000																															
担当課・係名	農産流通課農産係	課・係 電話番号	075 - 414 - 4955																														

平成17年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	鶏卵トレーサビリティシステム支援事業費		
予算額	9,000千円	新規・継続の別	新規
<p>事業内容</p> <p>〔 目 的 対 象 方 法 等 〕</p>	<p>1 趣 旨</p> <p>京都府内で生産・流通・消費される鶏卵について、生産者と流通業者が一体となって取り組む衛生管理水準の向上とトレーサビリティを組み合わせた安心・安全な京都府産鶏卵の流通システムの構築に対して支援する。</p> <p>2 事業主体</p> <p>京都府鶏卵トレーサビリティシステム推進協議会</p> <p>3 事業概要</p> <p>生産・流通・消費の各段階の連携による京都府産鶏卵のトレーサビリティシステムに必要な情報関連機器の導入及びデータベース構築に係る支援</p>		
担当課・係名	畜産課畜産係	課・係 電話番号	075 - 414 - 4985

平成 17 年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	家畜保健衛生所機能強化費		
予算額	660,000千円	新規・継続の別	継 続
<p>事業内容</p> <p>〔 目 的 対 象 方 法 等 〕</p>	<p>1 趣 旨</p> <p>BSEや鳥インフルエンザの発生等を発端として、府民の食品の安全性への関心がかつてないほどに高まっている中、消費者へ安心・安全な畜産物を供給するためには、複雑・多様化、国際化する家畜疾病に的確に対応し得る家畜保健衛生所の検査機能・指導体制を充実する必要がある。</p> <p>このため、新たに畜産主産地の北部地域に、迅速な遺伝子解析ができる機器整備等により、高度な機能を有する家畜保健衛生所の整備を平成16年度に引き続き実施し、食の安心・安全対策を強化する。</p> <p>2 事業主体</p> <p>京都府</p> <p>3 事業概要</p> <p>(1)事業内容</p> <p>建築工事・備品購入費等(用地取得・造成完了)</p> <p>(2)設置場所</p> <p>福知山市内</p> <p>(参考)</p> <p>・施設概要 本館、解剖室、焼却炉、防疫倉庫等</p>		
担当課・係名	畜産課家畜衛生係	課・係 電話番号	075 - 414 - 4985

平成 17 年度当初予算案主要事項説明

農 林 水 産 部

事業名	森林整備地域活動支援事業費		
予算額	240,000千円	新規・継続の別	継続
<p>事業内容</p> <p>〔 目的 対象 方法等 〕</p>	<p>1 目的 森林の有する国土保全、水源かん養、地球温暖化防止等の多面的機能を発揮させるため、森林整備の取組を推進する措置として交付金を交付する。</p> <p>2 事業概要</p> <p>(1) 対象地 森林施業計画の認定を受けた30ヘクタール以上のまとまりある団地（公有林及び緑資源公団林を除く）</p> <p>(2) 対象行為 協定に基づき行われる森林施業の実施に不可欠な地域における活動 ・森林の現況調査 ・施業実施区域の明確化作業 ・歩道の整備等</p> <p>(3) 対象者 協定に基づき活動を行う認定森林所有者等</p> <p>(4) 実施期間 平成14年度～18年度（5年後に事業見直し）</p> <p>(5) 助成単価 10,000円（ヘクタール・年相当） 《積算基礎となる森林》 ・人工林35年生以下及び天然林で育成林60年生以下の合計 ・治山事業の整備森林を除く</p> <p>(6) 負担区分 国1/2 府1/4 市町村1/4</p>		
担当課・係名	林務課計画指導担当	課・係 電話番号	075 - 414 - 5004